

むきぼんだ花だよ 9月

2015. 9. 5

「道すがら栗拾ひては遅れ行く」 もと



クサギ

シソ科クサギ属
日当たりのよい原野などによく見られる落葉小高木。
葉に悪臭がある事からこの名がある。



ゴンズイ

ミツバウツギ科ゴンズイ属
果実の各部分は肉質で熟すると赤くなり、
鎌形に曲がって反転し、太い糸がある。
それが裂けると中から1-3個の種子が顔を出す。
ちなみに裂けて見える子房の内側も鮮紅色で美しい。



ノブドウ??

スイカズラ科ガマズミ属
果実は赤く熟し、
最終的に晩秋の頃に表面に白っぽい粉をふき、
この時期がもっとも美味になる。



ガマズミ



クリ

クスノキ科シロダモ属
花は散形花序で、葉腋に黄褐色の小花を多数つけ、
翌年の秋、果実が赤色に熟す。
果実は楕円状球形で、長さ12~15mm。



クマノミズキ

ミズキ科ミズキ属
花は多数の白色4弁花。果期は10月。
果実は核果で、径5mmほどの球形で紫黒色に熟す。



カクレミノ

ウコギ科カクレミノ属
果実は長さ1cmくらいで先端に花柱が残り、
晩秋に黒紫色に熟す。
樹液中に漆の成分と同じウルシオールを含むため、
体質によってかぶれることがある。



ミツバアケビ

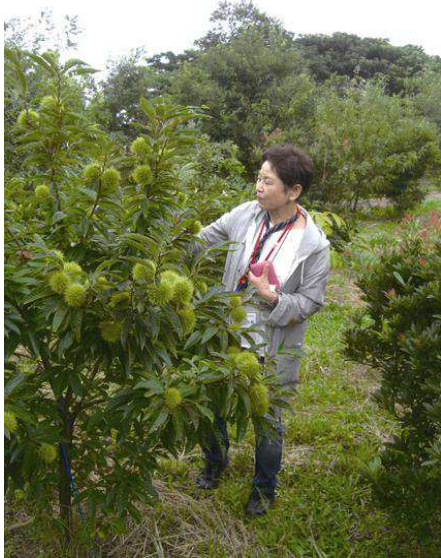
ブナ科クリ属
9月から10月頃に実が成熟すると
自然にいがのある殻斗が裂開して
中から堅い果実が1-3個ずつ現れる。



キミノシロダモ



ナツハゼ



『栗は最も身近で大切な食べ物だった！』

日本のクリは縄文時代人の主食であり、青森県の三内丸山遺跡から出土したクリの木のDNA 分析から、縄文時代にはすでに本種が栽培されていたことがわかっている。年間平均気温10 - 14℃、最低気温氷点下20℃をくだらない地方であれば、どこでも栽培が可能で、日本においてはほぼ全都道府県でみられ、生産量は、茨城県、熊本県、愛媛県、岐阜県、埼玉県順に多い。また、名産地として丹波地方（京都府、大阪府、兵庫県）や長野県小布施町が知られる。

- クリ（ブナ科 クリ属の木の種類）
各栽培品種の原種で山野に自生するものは、シバグリ（柴栗）またはヤマグリ（山栗）と呼ばれる
- 花言葉 満足、贅沢、豪華、真心
- 誕生花 3月8日・6月20日・10月24日

大きな大きな弥生の集落
むきばんだ遺跡

いつも何気無しに通る過ぎるゲート「高床式の入りロサイン」に気付き素敵な2人に出会い記念写真撮りました



「むきばんだ遺跡」

●2015.9.5 さとう三彦

秋の味覚
栗

妻木新山地区の「木の葉の森」でまだ若い栗に出会いました。たわわに実ったグリーンボールがいっぱい。植物観察で色々なこと知りました。

●栗の雌花は花序の基部につくと聞き驚きです



栗の花と若い実（写真撮影6月頃） ●雄花



●殻斗が4裂し果実がでる（おいしそう） 去年10月撮影



ススキについての豆知識

野原に生息しごく普通にみられるススキ。白い穂は花の集まり。秋が深まると花は綿毛をつけた種子に変わり、風によって飛んでいく～



- ススキ（漢字で薄または芒と書く）
- 分類 イネ科ススキ属 大形多年生
- 分布 全国
- 開花時期8月～10月
- 形体 葉はし（茎が根から束のようになって生じること）長い線形で縁はざらつく。

★むきばんだを歩く会★

●指導：鷲見寛幸先生（鳥取県自然観察指導員）

- 毎月第1土曜日午前9時30分～正午
- 入会金 2000円 毎回資料代 300円 いつでも、どなたでも入会可能です
- 問い合わせ：むきばんだ応援団「むきばんだをあるく会」